

事務事業評価(事前評価)シート【令和2年度】

主管課(担当名)	市民環境課(交通市民生活担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	(仮称)花咲港・厚床ふるさと館整備事業	事業番号	12834

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-1	コミュニティ活動の活性化
	施策目標	多様な地域コミュニティ組織が連携し共助の力を発揮するまち	

2 事務事業の目的

目的	花咲港会館は昭和53年建設、厚床会館についても昭和55年建設と建築後40年以上が経過するなど、老朽化が進行しており、建替による整備を実施し、地域住民のコミュニティ拠点を確保することで、生活改善と文化の向上を図る。
成果	新たに地域会館が整備されることにより、災害時における待避所としての施設機能向上や、平常時の地域住民の社会福祉の増進に寄与し、地域コミュニティが活性化が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	H30							
	R1							
	R2	基本構想策定						
	R3	基本設計(基本計画・基本設計)						
	R4	実施設計						
事業費と内訳	(単位:千円)		H30	R1	R2	R3	R4	総事業費
	事業費				2,970			2,970
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			2,970			2,970
		一般財源						
	人員(人工)				0.17			0.17
職員費(人員×7,673千円)				1,304			1,304	
総事業費				4,274			4,274	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R1)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	地域会館(花咲港・厚床)の整備	-	0ヶ所	2ヶ所

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	地域住民のコミュニティ活動拠点が整備されることにより、各種講座・スポーツ活動・会合など、文化の向上と社会福祉の増進により、つどいの場として活性化が期待される。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある □ニーズはある □ニーズはあまりない</p> <p>老人クラブや児童生徒の団体等が、文化の向上や福祉の増進を目的として利用しているが、施設の老朽化が進行しており、地域住民から活動拠点の充実が求められている。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである □市の実施について検討の余地あり □市以外で実施可能である</p> <p>地域会館の設置者である市が整備するべきである。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い □緊急性はある □緊急性はない</p> <p>施設の老朽化や、花咲港会館においては現立地場所が津波浸水予測による浸水区域内であり、また、敷地の一部が土砂災害警戒区域になっており、安全性に懸念があることから早期の対応が必要である。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である □現状として妥当である □検討の可能性はある</p> <p>事業実施にあたっては、地域の声を基に内容を十分に精査しているところであり、一般競争入札により委託者を選定し適切に進めている。</p>
オ. 事業の公平性	<p>□公平性は高い ■概ね公平である □改善の余地はある</p> <p>花咲港会館・厚床会館は昭和に竣工されたものであり、平成に竣工した他3会館と比べても老朽化が著しいため、建替えの優先度は高く、概ね公平といえる。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い □本事業の有効性がある □既存事業と大きな差はない</p> <p>コミュニティ活動拠点の整備により、各種講座・スポーツ活動・会合など、文化の向上と社会福祉の増進が見込まれ、地域の活性化に有効である。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【速やかに実施】</p> <p>速やかに事業推進を図り、老朽化した地域会館の整備を推進し、地域住民が安心して活動できる拠点整備を進められたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 □再検討し実施する □着手を延期する</p> <p>速やかに事業を推進し、地域住民のコミュニティ活動の活性化を図るとともに、災害時においても安心して利用できる施設整備を進める。</p>